

# 第129回日本小児科学会報告 2026.4月 下関

(※は平井のコメントです)

アナフィラキシー：呼吸症状・皮膚症状が基本だが、皮膚症状なくてもありうる。3大原因は薬、虫、食物。食物原因の死亡は比較的少ない。アドレナリンの点鼻製剤が出た（ネフイー）エピペンと共に緊急時に使用できるようになる。

アレルギー記載義務の食品：カシューナッツが加わり、9種類になった。あとは卵・乳・小麦・そば・エビ・カニ・クルミ・落花生。

こどもの睡眠時無呼吸症候群：睡眠の質が悪くなり、昼間に多動になることがある。ADHDの症状があれば、扁桃肥大・睡眠の質の確認も。

扁桃肥大の手術：被膜内口蓋扁桃切除術が開発された。従来の手術よりも術後ののどの痛みや出血リスクが劇的に少ない。

(※ 平井はこどもの頃知らないうちに扁桃線を取られました。)

過活動膀胱(夜尿)の新しい治療薬： $\beta 3$  アドレナリン受容体作動薬(小児は現在適応外)

夜尿：眠りが深いというより、睡眠の質が悪いためになる。REM睡眠が延長する。

(※ 今まで眠りが深いからと言っていました。ごめんなさい。)

眠りの質と学業成績には相関がある。

(※ 睡眠の質をよくする方法があります。ご相談ください。)

メラトニン：睡眠への導入、概日リズムの調整に効果ありますが、成人では慢性疼痛改善する効果もあります。

スマホなどのブルーライト(470nm位)メラトニン分泌を強かに抑制するので睡眠の質を下げます。

寝だめ：social jet lag 時差ぼけと同じです

麻しんの流行：日本では今年300-400人確認され、排除認定が取り下げられた。排除認定は達成よりも維持が困難。